

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
病態生理学	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	岡本明美、橋本裕二、金子教宏、仲地健一郎、白鳥俊康、榊澤政広、竹内正美、小原まみ子、細川直登、宮地康僚、関根龍一、安藤哲朗、六反田諒			
授業概要	主に内科的な疾患を系統的に当該領域の専門医師から学習する。主要な疾患の症状や病態生理、治療目的・手段を理解することで、様々な疾患の病態やその評価に基づく臨床看護判断力、適切な治療介入を選択する能力を養う。			
到達目標	高度な看護実践をおこなうためには対象者の複雑な健康状態、予後を正確に把握する必要があり、このために必要な比較的頻度の高い内科的疾患、病態に焦点を当て、症状や病態生理を当該疾患の専門医から系統的に学ぶ。さらに医学的のみならず社会的・倫理的に求められる治療目的や治療方法を学習し、臨床上の高い理解力と判断力を身につける。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	看護に活かす解剖生理と病態の知識	岡本	
	2	呼吸器系疾患の病態生理と診断・治療	金子	
	3	循環器系疾患の病態生理と診断・治療 心不全、不整脈、冠動脈疾患、高血圧	橋本	
	4	消化器系疾患の病態生理と診断・治療 消化管	仲地	
	5	消化器系疾患の病態生理と診断・治療 肝・胆・膵臓	白鳥	
	6	代謝・内分泌疾患の病態生理と診断・治療	榊澤	
	7	血液・造血器疾患の病態生理と診断・治療	竹内	
	8	腎尿路系疾患の病態生理と診断・治療	小原	
	9	神経系疾患の病態生理と診断・治療	安藤	
	10	感染症、寄生虫疾患の病態生理と診断・治療	細川	
	11	リウマチ性疾患、アレルギー疾患、免疫不全の病態生理と診断・治療	六反田	
	12	悪性新生物の病態生理と診断・治療	宮地	
	13	緩和医療	関根	
	14	看護の視点からみた事例検討①	岡本	
	15	看護の視点からみた事例検討②	岡本	
教科書	特になし			
参考書	Bickley, LS(著)、福井次矢、井部俊子、山内豊明(監訳)(2015):ベイツ診療法(第2版)、メディカル・サイエンス・インターナショナル 福井次矢(監修)(2017):ハリソン内科学第5版、メディカル・サイエンス・インターナショナル 矢崎義男他(編集)(2012):内科学第12版、朝倉書店			
評価方法・基準	事例検討での質疑応答及び課題レポートにより総合的に判定する。			
事前・事後学習	各講師が事前に提示する資料を予習する。学び取った知識を事例検討、課題レポートに反映させ、必要に応じて自ら文献検索を行い、文献的検討も行う。			
備考	特になし			